

市民共同でたたかった歴史的選挙

艦載機移駐・米軍住宅建設反対のたたかいさらに 姫野あつこ候補 善戦健闘

岩国市長選挙の結果をうけ、「住民投票を力にする会」の松田一志代表は、つぎのコメントを發表しました。

1、選挙結果について

1月24日投票の岩国市長選で、私たち「住民投票を力にする会」（以下「力にする会」）は、岩国市内の他の4つの市民団体（愛宕山を守る会、住民投票を活かす会、「草の根」、瀬戸内ネット）とともに、艦載機移駐・米軍住宅建設反対をかかげる共同の候補に姫野敦子氏を擁立してたたかいました。

投票率が47.49%と前回より大幅に下がるなか、姫野候補は14,820票（得票率27.5%）を獲得し、善戦健闘しましたが及ばず、福田良彦・現市長が39,074票（得票率72.5%）で再選されました。

ご支持、ご支援をいただいたみなさんに心から感謝申し上げます。また「力にする会」にたいし、県内、県外からよせられた物心両面にわたるご支援に心から感謝申し上げます。

2、今回の選挙戦の様相と問われたもの

今回の選挙戦の最大の争点は、2017年に計画される艦載機移駐の是非でした。姫野候補は、艦載機移駐・米軍住宅建設反対を正面からかかげ、「子どもたちに平和で安心して暮らせる岩国を残そう」「再編交付金に頼らず、自立した市政を」と訴え、たたかいぬきました。この訴えは、市民の強い共感を広げました。

福田候補は、市の総合計画に「基地との共存」をかかげつつ、基地交付金に頼る「実績」の宣伝に終始し、艦載機問題に全くふれませんでした。そのなかで、姫野候補が27.5%の得票を得たことは、福田市政への批判の表れです。

今回の選挙結果は、艦載機移駐計画と、なし崩しの基地拡大への市民の不安がはっきり示されたものです。私たちは、福田市政に、艦載機移駐・愛宕山米軍住宅建設に反対し、国とアメリカに中止するよう要望することを、あらためて強く求めるものです。

1月24日実施 岩国市長選・開票結果
(開票率100%)

候補者名	得票数	得票率
福田良彦	39,074	72.5%
姫野敦子	14,820	27.5%
合計	53,894	100%

投票率 47.49% (前回64.01%)
投票者数 54375 (前回75783)
有権者数 114459 (前回118398)

3、今回の市長選の画期的意義と私たちの決意

今回の市長選で、市長選史上初めて、米軍岩国基地増強に反対する5つの平和市民運動団体が共同して、姫野敦子氏を候補者に擁立してたたかいました。このことは、これからの市民運動の発展にとっても画期的意義をもつものです。立候補の要請を敢然と受けて立った、姫野氏の勇氣に心から敬意を表するものです。

5団体は「艦載機移駐反対、愛宕山米軍住宅建設反対」の一点で力をあわせ、選対も協議を重ねながら運営し、選挙運動にとりくみました。福田陣営にとっても、この市民の共同が一番の脅威となりました。

5団体の共同はこれからの運動に、大きな展望を開くものであり、基地拡大強化に反対し、平和を望む多くの市民に、希望を与えるものとなりました。

私たちは、市民運動5団体の連携と共同をいっそう強め、沖縄そして全国と連帯し、幅広い多くの市民のみなさんと力をあわせ、これからもたたかいつづけます。そして「オール岩国」に発展させ、「戦争する国づくり」をすすめる安倍暴走政治、そして安倍直轄の福田市政ノーの声を引き続き広げ、来年に迫った空母艦載機移駐計画を中止させるために奮闘していきます。

2016年1月24日

「住民投票を力にする会」代表 松田一志